

IOSONO CORE

没入型サウンド体験のためのオーディオ・プロセッサー



- ショー・コントロール・システムへのスムーズな統合
- 異なる会場や部屋に対する専用ミックスは不要
- 没入型サウンドスケープのシンプルな作成

IOSONO CORE プロセッサーは、Barco の IOSONO 没入型サウンド・システムの心臓部です。さまざまな機能を備えており、個々の会場への簡単な設置と適合を保証しています。IOSONO CORE は、オブジェクト・ベースのオーディオ、さらには、すべての標準に対応し将来を見越したディスクリート・マルチチャンネル・オーディオ・フォーマットをサポートします。

IOSONO CORE は、標準オーディオ・インターフェース、リモート・コントロール・ソフトウェア、および他のメディアとの同期を備えており、ショー・コントロールまたはシミュレーション・システムとのスムーズな統合を保証します。IOSONO サウンド・システムは、スケラブルであり、あなたの好みおよび会場や用途の特性に適合させることができます。自由な数のラウドスピーカー、さらには 2D と 3D のセットアップをサポートすることで、システムが完全にフィットします。

専用のミックスは不要

オブジェクト・ベースのミキシングのおかげで、異なる会場、部屋、システムの設定に対して専用のミックスを作る必要性は、過去のものとなりました。

Spatial Audio Workstation プラグインにより、没入型サウンドスケープが簡単かつ正確に作成されます。VST プラグインは、最大 128 オーディオ・チャンネルをサポートします。

会場 & ホスピタリティ - 記憶に残る瞬間を作る

コンサートやライブ・イベント、または博物館やドーム・ショーといったビジター・アトラクションの場合、IOSONO サウンド・システムが信頼性、その他のショー・システムとの簡単統合、そして観客にとって忘れられないリスニング体験を提供します。

小売 & ブランディング - あなたのメッセージをサウンドで増幅

あなたのブランド・メッセージを真の没入型メディア体験で引き立たせます。
IOSONO CORE は、ショールーム、フラッグシップ・ストア、または製品イベント
で、あなたの顧客と繋がります。

シミュレーション - 常にリアルな環境

Barco の没入型サウンドは、シミュレーション環境のビジュアル品質と一致した真に
迫るサウンド体験を提供します。スピーカーと高信頼性システムのさりげない統合
は、研究とビジネスの顧客を同様に納得させます。

- すべての標準に対応し将来を見越したディスプレイ・マルチチャンネル・オーディオ・フォーマット (ステレオ、5.1、7.1、11.2 など) をサポート
- ステレオ、5.1 および 7.1 サウンド用の強化再生が Render+ アドオンとミックス
- 最大 128 チャンネルのレンダリング
- MADI および/または AES I/O
- 最大 96 kHz / 24 ビット
- 専用タイムコード (LTC) 出力
- ワードクロック I/O
- 基本パラメータのプリセット選択と調整のための 7" カラー・タッチ・スクリーン
- ハードウェア・ボリューム・コントロール
- Windows 用リモート・コントロール・ソフトウェア
- 設置時に役立つ頑丈なフロント・ハンドルを備える傷つきにくい耐衝撃ハウジング
- オプションの冗長電源が利用可能

技術仕様

IOSONO CORE

一般仕様	
ハウジング	19 インチ / 4RU
電源	電圧 / 周波数範囲:100-240 VAC / 50-60 Hz
ディスプレイ	抵抗性タッチスクリーン装備 7 インチ・カラー・ディスプレイが基本的なコントロールとプリセット選択を提供
ボリューム・コントロール	ハードウェア・ボリューム・ホイールおよびリモート・コントロール・ソフトウェア
リモート・コントロール	Microsoft Windows 用 リモート・コントロール・ソフトウェアは、標準 TCP/IP ネットワーク接続で全機能のコントロールを提供します。固定 IP および DHCP が可能です。メディア・コントロール・コマンドは、ネットワークと RS232 を介して取得できます。
端子	■ USB:2 x USB 2.0、タイプ A ■ イーサネット・ポート:1 x ギガビット・イーサネット、RJ45 (リモート・コントロール) / 1 x ギガビット・イーサネット、RJ45 (拡張/s) ■ RS232:1 x Sub-D (UNC 4-40 付き DE-9M) ■ ワードクロック入力 / 出力:1 x BNC 75 Ω / 1 x BNC 75 Ω ■ ビデオ同期入力:1 x BNC 75 Ω ■ リニア・タイムコード (LTC) 入力:1 x BNC Ω
オーディオ・コネクタ	■ MADI 光入力 / 出力:1 x SC (64 チャンネルあたり) / 1 x SC (64 チャンネルあたり) ■ MADI 電気入力 / 出力:1 x BNC 75 Ω (64 チャンネルあたり) / 1 x BNC 75 Ω (64 チャンネルあたり) ■ AES/EBU 入力 / 出力:1 x Sub-D (UNC 4-40 付き DB-25F) (8 モノ入力 / 出力チャンネルあたり)
標準ソフトウェア	■ 1 つのシングル・レイヤーで構成されるラウドスピーカー設定の 2D レンダリング ■ オブジェクト・ベースのディスクリート・マルチチャンネル・オーディオ・フォーマット ■ オーディオ入力、ワードクロック入力、ビデオ入力を介した同期 ■ 128 のオーディオ・オブジェクトを、最大 24 ビット / 48 kHz までの利用可能なすべてのオーディオ出力に同時レンダリング
ソフトウェア・オプション	■ プレーヤー: 内蔵ストレージからのオブジェクト・ベース IOSONO コンテンツ、および外部デバイスからのストリーム・コンテンツの再生。内蔵ストレージから 48 kHz マルチチャンネル・ウェーブ・ファイルの再生。LTC タイムコード入力での同期可能 ■ 3D レンダラー: 2D から 3D レンダリングへのアップグレード。複数のレイヤーとドーム形状をサポートするスピーカー設定。 ■ Render+: 音響情景の空間分布を強化するための 5.1 と 7.1 オーディオ・入力のリアルタイム処理 ■ システム・チューニング: 各ラウドスピーカーに対する複数のマイクロフォン測定と個々の FIR フィルターに基づく IOSONO システムの音響チューニングとサウンド改善 ■ リモート・コンボルバー: オーディオ信号と MATLAB で生成される FIR フィルターのリアルタイム・コンボリューション ■ 96 kHz サンプル・レートでの処理
ハードウェア構成	■ 冗長電源でもすべての設定が利用可能 ■ 64 MADI 入力 / 出力モノ・チャンネル ■ 128 MADI 入力 / 出力モノ・チャンネル ■ 32 AES 入力 / 出力モノ・チャンネル ■ 64 MADI 入力 / 出力モノ・チャンネル + 16 AES 入力 / 出力モノ・チャンネル
ハードウェア拡張	IOSONO CORE 拡張: 複数の出力チャンネルを拡張あたり 128 ステップで拡張します。2 つ以上のユニットを IOSONO CORE プロセッサに接続でき、ヘッド・ユニットとして機能します。
寸法 (W x H x D)	485 x 178 x 615 mm / 19 x 7 x 24.2 インチ 設置奥行き (コネクターなし):555 mm (21.9 インチ)
重量	20 kg / 44.1 lbs
証明書	CE、KC、CCC、UL、RCM

生成日:15 Mar 2023

技術仕様は予告なく変更する場合があります。最新情報については、www.barco.com をご覧ください。

ENABLING BRIGHT OUTCOMES

BARCO